

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

FAX03-3261-5453

2017年11月6日 (月)

NO. 805号 本号3頁

## 「安倍9条改憲反対!」「戦争する国にするな!」

### 国会前改憲阻止へ市民4万人

国会では衆参両院で改憲派が憲法改正発議に必要な3分の2を超える勢力となり、改憲の動きが現実味を帯びているもとの、日本国憲法公布から71年を迎えた3日、国会議事堂周辺で憲法改正に反対する「全国市民アクション」が、「9条改憲反対」の大集会を開催しました。約4万人が参加。「改憲反対」「9条壊すな」「戦争する国にするのは絶対に反対だ」と怒りのシュプレヒコールを繰り返しました。

国会正門前で壇上に立った作家の落合恵子さんは「安倍政権に白紙委任状を渡したことはない」と断言。先の衆院選で多額の税金が使われたことを批判し、「自分の金で総選挙をやれと言いたい」と怒りを表明しました。



また、今年のノーベル平和賞受賞が決まった国際的なNGOの連合体「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」の国際運営委員を務める川崎哲さんは、「日本政府は核兵器禁止反対、憲法9条を壊すという道を進んでいる」と懸念を示し、「9条を守って生かす、世界中で核兵器をなくすという運動が進むべき道だ」と訴えました。

さらに、元最高裁判事の浜田邦夫さんも安倍首相が示した憲法9条に自衛隊の存在を明記する改正案を問題視し、「衆院選では自民党が大勝したが、民主主義、立憲主義、法の支配を守るため、国民一人一人が勇気を持って発言していくことが必要だ」、「憲法改正の検討自体は反対しない。しかし、安倍政権の近年の独裁的な手法、やり口を認めるわけにはいかない。安倍政権が目指しているのは戦争ができる普通の国。これは戦前の日本に戻るコースだ」「戦後70年間築いた信頼や憲法規範を損ねるものだ」と語りました。

小学5年の孫 (10) と参加した埼玉県上尾市の無職守山猛さん (74) は「戦争が身近になっている。大勢の人が反対する雰囲気を見て、何か伝われば」と語りました。

## 立憲民主、民進、共産、社民の4野党幹部らがそろい踏み



立憲民主、民進、共産、社民の4野党幹部らがそろい踏みし、憲法9条への自衛隊明記など安倍政権下での憲法改正に反対し、阻止する考えを訴えました。自由党の小沢一郎代表からはメッセージが届き、司会者より紹介されました。立憲民主党の枝野幸男代表と共産党の志位和夫委員長はそれぞれあいさつし、安倍晋三首相が目指す憲法9条改正阻止を訴えました。枝野氏は、先の衆院選で改憲勢力が国会発議に必要な3分の2超の議席を占めたことに関し「立憲主義や憲法

の危機を同じ思いで感じている国民は必ずしも多くない」、「国会でわれわれは少数派かもしれないが、『9条を改悪していい』と白紙委任したのではないと首相に訴えていかなければいけない」と述べました。また、共産党の志位和夫委員長も「国民の中で9条改憲は絶対に駄目だという多数派をつくれれば、首相だって国会発議を怖くてできなくなる」と強調しました。

## 3000万署名のとりくみ

### 大阪 1日、大阪3団体が緊急宣伝行動 大阪憲法会議も奮闘！

大阪の国民大運動実行委員会、憲法改悪阻止大阪府各界連絡会、森友疑惑の真相究明を求める大阪連絡会の3団体が1日、「憲法9条守れ、政治の私物化は許さない」と、大阪市難波の大阪タカシマヤ前で緊急宣伝行動を行いました。

約100人が参加団体から参加し、「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」を呼びかけました。ビラ約1500枚を配布し、8人がマイクを握り、訴えました。

大阪憲法会議の山田憲司事務局長、大阪府職労の有田洋明委員長、大阪自治労連の小山光治副委員長、新婦人大阪府本部の杉本和会長、府高教の志摩毅委員長、安保破棄大阪実行委員会の守山偵三事務局長、大教祖の小林優委員長、大阪労連の菅義人事務局長が訴えました。杉本氏は、「憲法改悪を許さず、憲法を生かす政治を求めよう」と訴え、菅氏は「改憲勢力が3分の2を占めたが、世論を広げられれば止められる」などと、次々とマイクを握り、訴えました。

大阪市の女子高生は、「戦争しない今のままの日本がいい」と署名しました。

## 各地のとりくみ

### 新日本婦人の会 全国大会を開催

#### 「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」「ヒバクシャ国際署名」推進！

新婦人は4日～5日、東京都内で全国大会を開催しました。笠井貴美代会長はあいさつで、9条改憲策動を強め、核兵器禁止条約に背を向ける安倍政権に対抗して、女性とともに運動を進め、力を発揮してきたことを強調し、「くらし、平和、ジェンダー平等への女性の願いに応じて、反から9条改憲発議を許さない国民多数派をつくるダイナミックな仲間づくりを全国で広げよう」と呼びかけました。



高杉しゅん事務局長が大会議案を提案。「安倍9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」「ヒバクシャ国際署名」の推進など平和を守る運動をはじめ、切実な要求の実現に力を合わせようと訴えました。そして、若い世代がつながり、仲間を増やすとりくみを大きくしようと提案しました。

討論では、禁止条約に結びついた核兵器廃絶を求める運動をはじめ、憲法9条を守り、安倍政権の退陣を迫るレッドアクションなど全国の活動が交流されました。女性・市民と野党共闘を広げ、新婦人をさらに大きくしようとの決意が相次ぎました。

新潟県本部の代表は、市民と野党の共闘を進め、広範な運動を広げる新婦人が注目され仲間を広げていると発言。また、沖縄県本部の代表は、総選挙で「オール沖縄」のたたかいのなかで、仲間を増やしたと報告しました。

核兵器廃絶の課題では広島県や岐阜県本部の代表が、原爆パネル展や署名、意見書採択、宣伝を進めて来たことを紹介し、「核兵器禁止条約の歴史的ページを開いたのは私たち。条約に参加する政府をつくろう」と訴えました。

## **和歌山** 和歌山市で第14回憲法フェスタを開催

「守ろう9条紀の川市民の会」は3日、第14回憲法フェスタを和歌山市で開催しました。名古屋大学大学院の本秀紀今日中が講演し、4分の1以上の議員が求められ場国会を開かなければいけないのに拒否し続け、特別国会にあたり野党の質問時間をけずるといってもない安倍政権のやり方を「日本の与党はヨイショの質問しかしない。やらせ。これを増やしてどうする」と指摘し、「議席の数だけでは民意は見えない。小選挙区効果で得票率と議席の数は論理的に関係ない」と述べ、「民主主義を鍛える必要がある」と運動の発展を訴えました。

同フェスタでは、戦前の治安維持法の犠牲になった和歌山県出身の戸台俊一氏のおい、戸台敏治さんが同法の残忍さを告発。「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」展の開催など、多彩なプログラムが実施されました。

## **大阪** 3日、9条改正阻止集会「戦争アカン」と訴える！



市民団体「戦争をさせない1000人委員会」などは3日、大阪市北区の中之島公園で「おおさか総がかり集会」を開き、憲法9条の改正阻止を訴えました。

戦争に反対する歌が披露され、市民らが「戦争アカン」「憲法こわすな」などとプラカードを掲げ、声を上げました。

招待された立憲民主党の辻元清美衆院議員は「衆院選では大きなうねりを感じた。特別国会では森友・加計問題も憲法もしっかりと論戦を挑みたいし、これからが本番だ」とあいさつしました。

共産党の辰巳孝太郎参院議員は「憲法問題については（改正反対の）3千万人の署名を集めて、国会で発議させないことが大切だ」と呼び掛けました。



**安倍9条改憲を許さない  
森友・加計学園疑惑徹底追及  
安倍内閣の退陣を要求する  
11・19国会議員会館前行動  
11月19日 日 14:00～  
場所：第2議員会館前を中心に**

主催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会  
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会